情報数理

情報数理部門では，学部向け 300 番台の科目として，「代数学」，「幾何学」，「解析学」，「現象数理」，「基礎数学」の 5 科目を開講している。これらの科目は，共通教育レベルの微分積分・線型代数の内容が既知の学生に対して，それぞれの分野の基礎となる概念および手法を理論的，技法的，応用的な面に十分配慮して習得させることを目標にしている。これらを学習することで，学生は数理的な考え方を身につけ，それを活用できるようになることが期待される。共通教育科目として開講されている数学関係の授業と合わせて，全体として基礎的なものから応用にいたるまで幅広い体系的なカリキュラムになっている。なお，300 番台の科目は半年毎週 2 回，4 単位の授業としてほぼ毎年開講されている。

大学院の科目としては，400 番台で「基礎数理」，「数理構造Ⅰ」，「数理解析Ⅰ」，また 500 番台で「応用数理」，「数理構造Ⅱ」，「数理解析Ⅱ」を開講している。これらは特定のテーマについて深く掘り下げた専門的な内容のものとなっている。共通教育レベルの微分積分・線型代数は前提とするが，一部の科目では 300 番台の学部向け講義の内容は必ずしも履修の前提条件とはしていない。これらの大学院科目は通常半年 2 単位で，担当者により基礎理論から各種の応用にいたるまで多彩な講義が行われている。

研究面では，国際的な雑誌に論文を発表し，また国内外の学会，研究集会で研究発表するなど，活発な活動を続けている。